

校長室より

平成28年5月24日

置賜地区高等学校総合体育大会を応援して

5月14日（土）、15（日）に置賜地区高等学校総合体育大会が開催されました。

私はテニス競技の開会式の挨拶等の役割を終えた後、選手の応援を行いました。荒砥高校は男子団体の準決勝を3対0で勝ち、決勝ではシングルの2人が勝利した時点で優勝が決まりました。女子団体は4人の選手で出場し、大健闘をしたのですが、決勝で負けてしまい準優勝となりました。午後、テニス競技は副部長さんにお願ひし、ソフトボール、卓球、バレーボール、バドミントンの各競技会場で荒砥高校の応援に行かせていただきました。残念なことにソフトボール、卓球は競技時間が合わずに、選手の皆さんへの激励だけになってしまいました。

バレーボール会場に到着すると、荒砥高校の試合が始まったばかりです。第1セットは苦戦していたのですが、第2セット途中から選手がボールを拾い、繋いで連続で得点が入り、17対25と接戦を演じました。バレーボール会場にサッカー部の選手が応援にきていて、午前中のサッカーの試合で1点をいれたことを教えてくれました。私はその選手に全国高校選手権の予選までサッカーを続けて欲しいと伝えました。3年生が部活動を続けてくれると、公式戦1勝ができると思ったからです。

バドミントン競技の男子ダブルスでは足の怪我でアイシングを行いながら県大会への代表決定戦を戦いました。第1ゲームをとりましたが、第2・3ゲームを奪われて惜しくも負けてしまいました。女子ダブルスでは、強敵を破りベスト8まで勝ちあがる試合を部員と一緒にあって応援をしました。

15日はテニス競技のダブルス、シングルの準決勝、決勝が行われました。女子ダブルス準決勝では大変もつれた試合になり、最後には「勝ちたい」という気迫が勝った試合で荒砥高校が勝ちました。このような気持ちをあらゆる場面で持つことができるならば、さらに進化した荒砥高校になると確信をしたところでした。テニス競技の結果は、男子ダブルス優勝、男子シングルス第3位、女子ダブルス準優勝・第3位女子シングルス準優勝と県大会に向けて期待のもてる試合結果でした。

どの競技会場でも選手はひたむきにプレーし、日頃の練習成果を十分に発揮した大会でした。また、感動を与える場面を数多く見せてくれた大会で、生徒から明日への活力をいただいた2日間となりました。



【テニス競技閉会式後部員全員との記念写真】